



令和
6年度
小学校

内容解説資料

教科書
特集ページ



LINE公式
アカウント



NEW HORIZON Elementary English Course

東京書籍



「英語の広場」からも
ご覧いただけます。

見て、見て！ウェブ連載をはじめました！

～上記の教科書特集ページなどからアクセス！～

週2日更新！

新しい教科書の謎を解け！

バーチャルYouTuberのエイゴリック・ホームズが、新しい教科書の魅力を紹介していきます。この教科書の編集代表の2人の先生方も時々登場するかも!?

(2023年4月～随時配信)



毎週更新！

水平線の彼方に
～僕たちの新しい教科書～

『NEW HORIZON』が大好きな動物のキャラクターたちが、新しい教科書の魅力をマンガ動画形式で紹介していきます。

(2023年4月～随時配信)



期待に応える、期待を超える

令和2年度からの小学校英語の教科化、令和6年度からの紙の教科書とデジタル教科書の併用など、日本の英語教育は大きな変革期を迎えています。令和の日本型学校教育の構築を見据え、私たちは改めてどのような存在でありたいのかを問い直しました。その答えが「Over the NEW HORIZON 期待に応える、期待を超える」。その最初の一步となる『NEW HORIZON Elementary』にご期待ください。

東京書籍の英語関連教材の公式ロゴマーク



東京書籍が発行する小・中学校の教科書の表紙に必ず描かれている水平線（HORIZON）には、児童生徒に夢を与える本作りをめざすこと、人は果てしない可能性を持っていること、人は肌の色や文化、考え方に違いはあっても平等であることなどへの思いが込められています。初版本の表紙にはイギリスから新天地アメリカへと渡った船・メイフラワー号が描かれており、このような船も、形や場面を変えながらも継続したモチーフとなっています。



令和6年度版教科書は、

ご好評いただいた枠組みを継続しながら、

これまで先生方が積み重ねてこられた実践を、さらに豊かに発展させていただくためにも、ご好評いただいた指導の流れなどの大きな枠組みを継続しました。

Starting Out、Your Turn、Enjoy Communication、Over the Horizonといった名称もそのままに、安心して新しい教科書をお使いいただけます。

指導しやすく、児童に寄り添う内容に。

教科書の制作過程において、実際に授業をなさっているたくさんの先生方の声に耳を傾けました。

大きな枠組みを継続する一方で、魅力的な題材や豊富なデジタルコンテンツなどを中心に、さらに指導しやすく、児童に寄り添う内容となるように編集しました。

この教科書は、指導される先生方のご意見・アイデアであふれています。

『NEW HORIZON Elementary』で、

世界とつながる トビラを開こう!

Message



6年生のUnit 8の
実際の映像で、
私たちの思いを
感じてください!



「世界のことを知りたい!」「もっと英語で思いを伝えたい!」。そんな意欲にあふれる児童に育ってほしいと願い、この教科書を編集しました。コミュニケーション能力の基礎を育てるとともに、多様性を尊重し、共生の意識を持って世界へつながろうとする心を育成します。

みんなが英語を 大好きになります

魅力的な題材と豊富なデジタルコンテンツなどを通じて、児童の好奇心を刺激します。児童だけでなく、先生方や保護者も含めて、みんなが英語を大好きになる環境を醸成します。

英語で伝え合う力が 身につきます

スモールステップで繰り返し学習を積み重ねる単元構成としました。目的や場面、状況などに応じた英語で伝え合う力を確実に身につけることができます。

児童の学びと 教員の指導に寄り添います

児童にとって学びやすく、先生方にとって教えやすくなるように配慮しました。シンプルな紙面構成や評価の観点の明確化などを通じ、見通しをもって学習に取り組めるようにしました。

contents

特に知っていただきたい 3つのこと

- ① 続きが知りたくなる魅力的なストーリー 07
- ② 多彩なデジタルコンテンツ 08
- ③ 適切な指導時間への配慮 10

みんなが英語を 大好きになります

- ① 魅力的な言語活動 13
- ② 児童の興味関心をひくトピック 14
- ③ 調べ学習が楽しくなる Digital Map 15

英語で伝え合う力が 身につきます

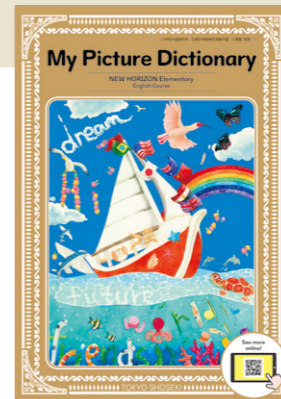
- 見通しを持てるスモールステップの単元構成 17
- Starting Out / Your Turn / Enjoy Communication /
Over the Horizon / Sounds and Letters / Check Your Steps

児童の学びと 教員の指導に寄り添います

- ① 学びやすい単元構成への変更 25
- ② 進化した『My Picture Dictionary』 26
- ③ わかりやすく、適切な評価のための工夫 28

その他 / 質問コーナー / 令和の日本型学校教育の構築のために 30

教科書の 構成



『My Picture Dictionary』は、小学校で学びたい語(約700語)や表現が収録されています。5年生に供給され、2年間同一の冊子を使い続けることができます。改訂初年度には6年生にも供給されます。

Check! 1

続きが知りたくなる魅力的なストーリー

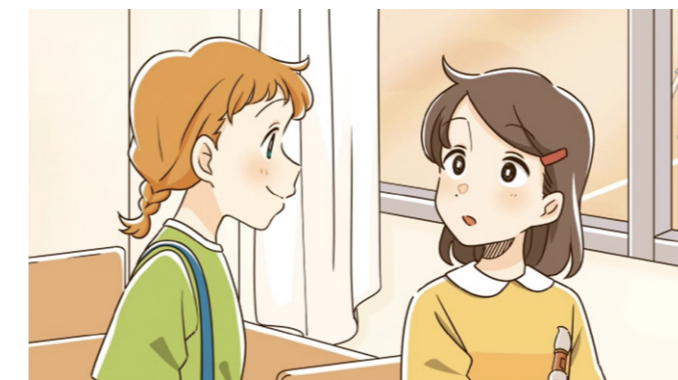
各単元の冒頭のパート・Starting Outをアニメーション映像にしました。個性豊かなキャラクターたちが織りなすストーリーを通じて、児童は楽しみながら、場面に適した英語表現を身につけます。「ストーリーの続きが知りたくなる」を「英語を学習したくなる」につなげます。

特集ページ内のキャラクター紹介「60秒ムービー」はこちら。



5年生のあらすじ

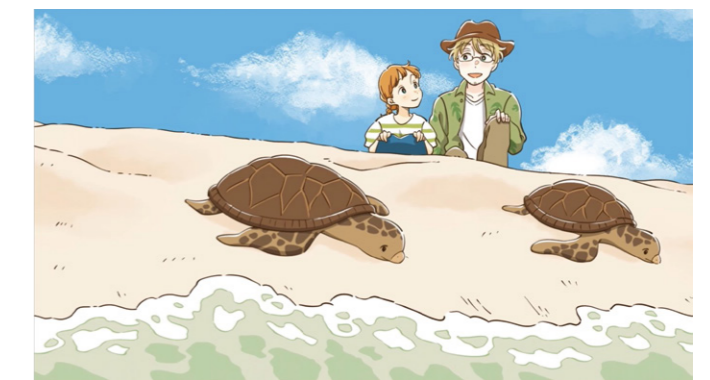
新学期、若葉小学校にやってきた新入生のソフィア。誕生日会をしたり、動物園に行ったりして、クラスメートとどんどん仲良くなっていきます。日本人の児童も、住んでいる地域や日本などについて英語を使うことによって、より深く学んでいくこととなります。



ソフィアと早紀が教室で会話をする映像。児童の日常生活に沿った内容なので、自分ごととして、興味を持ってストーリーを視聴できます。

6年生のあらすじ

新たに加わったナディアとともに、さまざまな経験をしていく登場人物たち。ソフィアはオーストラリアに一時帰国し、SDGsなどの問題についても学びます。一方で、ルーカスはサッカー選手の父親がヨーロッパのチームからオファーを受けて…。ラストは感動のエンディングが待っています。



オーストラリアに一時帰国したソフィアは、SDGsについて学習し、帰国後の授業で友達と一緒に生き物のためにできることについて発表します。

Check!
特に知って
いただきたい
3つのこと

ここでは特にチェックしていただきたい3つの改訂ポイントをお伝えいたします。

登場人物



新井先生
新人。5年担任。英語はあまり得意ではないが、一生懸命勉強中。



水野先生
3年目。6年担任。英語が好き。いつか英語専科教員になりたい。

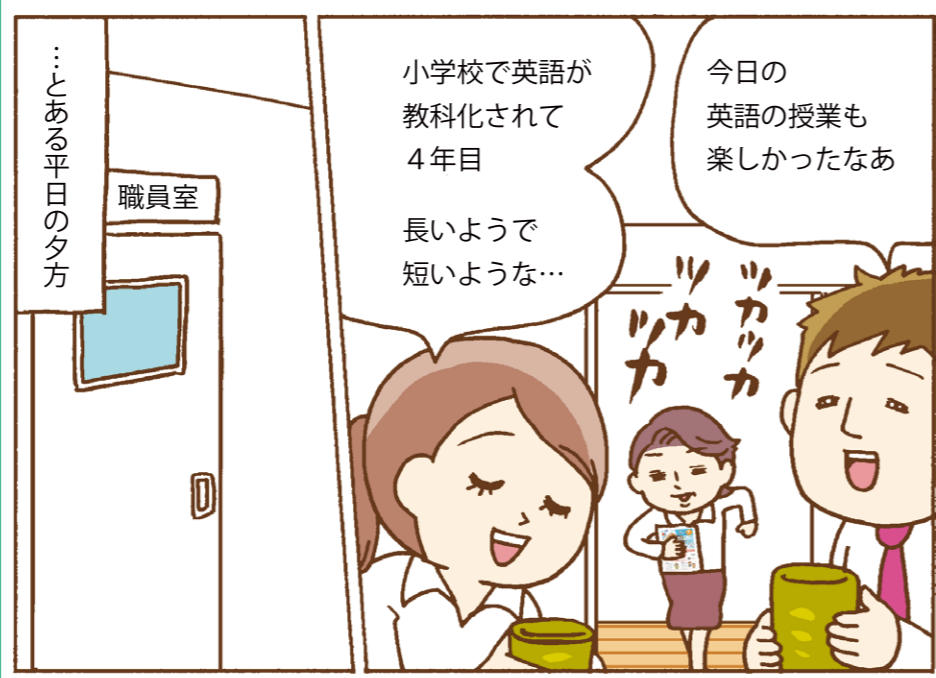


平田先生
8年目。近隣の小学校の英語専科教員。熱い指導助言で評判。



船木先生
校長。研究熱心で外国語教育についても詳しい。

僕はエイゴリック・ホームズ。この教科書のよさを伝えていきます。



マンガ ふじいまさこ

主な登場人物



後藤早紀
Goto Saki
英語が好き。夢は世界で活躍するビジネスマン!



田村大地
Tamura Daichi
タブレットを自在に操る。プログラミングが好き。



ルーカス・コスタ
Lucas Costa
ブラジル出身で、父親がサッカー選手。陽気な性格。



ナディア・トウェット
Nadia Towett
ケニヤ出身。6年生から若葉小学校に転入する。



大石健先生
Oishi Ken
ソフィアたちの学級担任の先生。



エレン・ベーカー先生
Ellen Baker
ソフィアたちの英語の先生。以前は中学校のALTだった。

ベストセラー『僕らはなぜ働くのか』(池上彰監修・学研プラス)のイラストで有名な佳奈さんが、私たちを描いてくれました!

ソフィア・ジョーンズ
Sophia Jones
この物語の主人公で、オーストラリアからの転校生。好きな料理はワニのステーキ! 好奇心旺盛な性格。



Check! 2

多彩なデジタルコンテンツ

208カ所の二次元コードから見られるデジタルコンテンツを678項目・2,081(5・6年生、『My Picture Dictionary』)をご用意しました。令和6年度から使用される学習者用デジタル教科書にも搭載されます。画面上からの問いかけによる対話練習など、個別最適な学びにも対応しています。

1 ストーリー 音声とアニメ映像の2パターンを用意しています。興味深いストーリーを繰り返し聞くことで、児童は自然な英語に慣れ親しんでいくことができます。▶詳しくは p.7 参照。

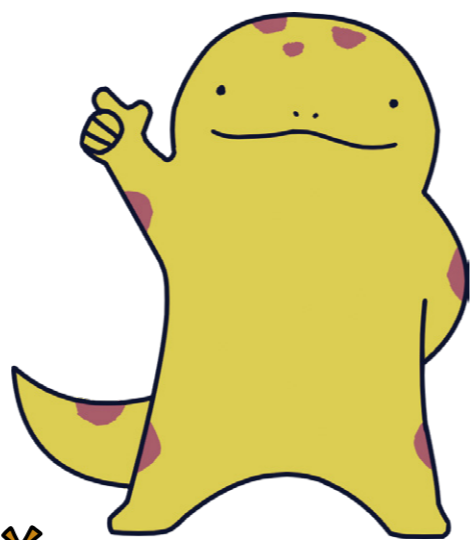
2 チャンツ・歌 役割を明確化し、楽しい映像に進化させました。



キュートな動物たちが児童に発話を促します。表現のあとにささやき声が繰り返されるので、歌詞を覚える必要がなく、まねしてリピートしやすくなっています。



Starting Outの登場人物たちが異なるイラストタッチで登場。新曲は半分で、令和2年度版教科書の好評な歌は一部歌詞を替えて残しています。



さまざまなデジタルコンテンツで、指導の「選択肢」をご提供しています。

3 モデル映像

言語活動をしやすいようにモデル映像などを豊富にご用意しました。さらに教科書紙面の登場人物が実写で登場し、画面を通じて対話練習ができる映像も用意しました。



5年生 Unit 1 の Enjoy Communication of Your Goal のモデル映像。



5年生 Unit 1 の Enjoy Communication of Step 1 の会話練習映像。



4 デジタルワークシート

デジタルのワークシートをご用意しています。ツールバーから書き込み機能を選択して記入したり、内容を保存したりすることができます。それらを授業支援ツールなどを活用して、送信することもできます。



5 資料映像

Over the Horizon を中心に、さまざまな資料映像があります。単元のトピックと関連した「文化探検」のほか、日本で働く外国出身者を取材した「日本探検」(5年生)、海外の児童とオンラインで会話する「世界探検」(6年生)などがあります。



世界に貢献する日本の NGO の活動を紹介します「文化探検」の映像(6年生 Unit 6)。



日本で働く韓国出身の方が、アイヌ文化について紹介する「日本探検」の映像(5年生 Unit 1)。



各国のジェスチャーの意味を予想する「文化探検」の映像(5年生 Unit 3)。



オンラインで各国の児童が自国の文化を紹介する「世界探検」の映像(6年生 Unit 6)。

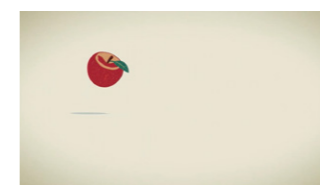


巻末にある NHK for School 提供の映像。夏休みの宿題などにも活用できます。(5年生 Special Extra)

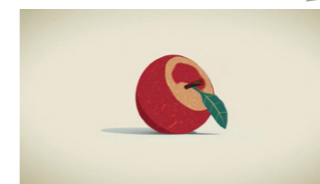


6 文字指導映像

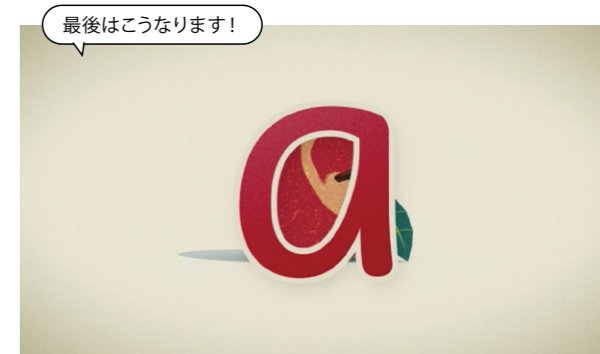
「文字の音」と「単語の音声」を、絵から変化する「文字の形」と連動させて定着させることを狙ったアニメーション映像です。文字指導においては、さまざまなアプローチから児童に定着を促していくことが大切とされ、このような映像は特別な支援が必要な児童にとっても有効であると言われています。



「a」の例。リンゴが近づいて…



「a」の形に似た状況で止まります。



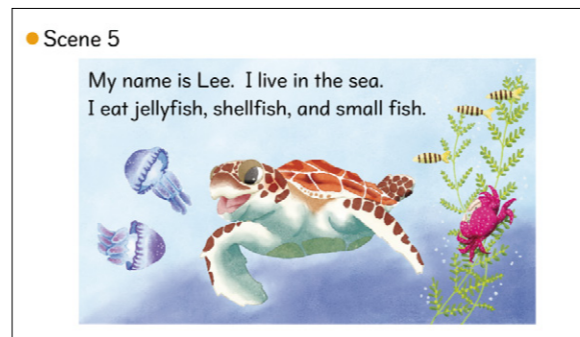
最後はこうなります!

最後にアルファベットの「a」が重なります。



7 物語探検スライド

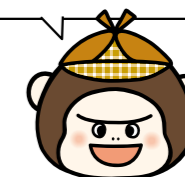
物語を通じて読む活動を行う「物語探検」(6年生)。音と意味の理解を促すスライドを視聴してから教科書掲載の文を読むので、自力で読もうとする意欲も養えます。



Key Point

デジタルコンテンツは学習者用デジタル教科書でも!
紙の教科書から視聴できるデジタルコンテンツは、学習者用デジタル教科書からも視聴することができます。これらの豊富なコンテンツは、進度が遅めの児童には確実な定着を、速めの児童にはさらなる意欲の向上を促します。

学習者用デジタル教科書は、紙の教科書にデジタルコンテンツを加えた内容となっており、令和6年度から紙の教科書と併用されることが決まっています。



Check! 3

適切な指導時間への配慮

指導する項目が多くて扱いきれない…。令和2年度版教科書ではそんな悩みもいただきました。新しい教科書では、映像の収録時間を短くしたり、調べ学習を効率化したりして、適切な指導時間を確保できるように配慮しました。

1 映像の収録時間を短かく

例えば Starting Out では、映像の本数を減らしたり、一本あたりの時間を短縮したりすることで、短時間で効果的な指導ができるようにしました。その分、児童の自己表現活動などに時間を割くことができます。

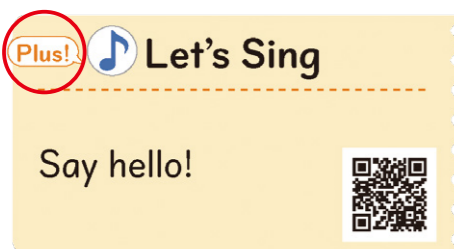
(例) Starting Out (Listen and Think) の合計収録時間

令和2年度	68分33秒	
令和6年度	42分30秒	← 約37%減

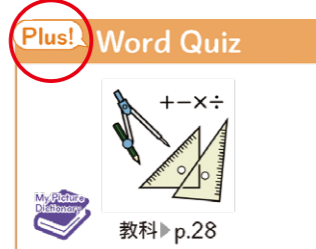
2 「Plus!」マークでメリハリのある指導をサポート



5年生 Unit 1 の『My Picture Dictionary』とのリンクを示す箇所。



5年生 Unit 1 の Let's Sing。



5年生 Unit 1 の Word Quiz。

「Plus!」マークは、「付録」の活動の目印です。これにより「指導しなければいけないもの」と「時間があれば指導するもの」というように重要度を区別できるので、メリハリのある授業を行うことができます。

3 モデル映像で指導を効率化 ～ Small Talk と Over the Horizon ～

シンプルな活動の導入も、授業の効率化の一助になります。Small Talk については教科書のデジタルコンテンツにはサンプル映像を(5年生 p.7 参照)、指導者用デジタルブックには教科書掲載トピックすべての映像をご用意します。Over the Horizon のすべての活動にも映像があります。

先生方の授業準備の負担軽減にもつながります。



Small Talk のモデル映像。(Let's start!)



Over the Horizon の映像(5年生 Unit 8)。



4 指導者用デジタルブックの大幅リニューアル

▶詳しくは p.30 参照。

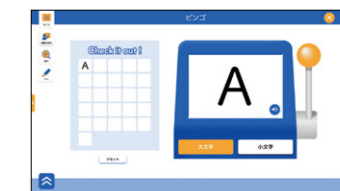
指導者用デジタルブックの UI (ユーザーインターフェース) をゼロから見直し、授業の効率化につなげます。



ツールバーなども見やすく整理されています(画面はイメージ)。



新機能のタイマー。活動時間の管理に便利です。



児童が大好きなビンゴ活動を行うのに便利な画面です。

5 調べ学習にかかる時間の短縮

個別最適な学びにぴったりのデジタルコンテンツは、調べ学習を短縮・効率化し、豊かな言語活動の時間を生み出します。

Digital Dictionary ▶詳しくは p.26 参照。



「先生、この単語はなんと発音するんですか。そんな児童の質問への対応で、時間が過ぎてしまった経験はありませんか? Digital Dictionary は各単語ごとに音声を再生できるので、児童が自ら音声を確認することができます。

Key Point

紙面 700 語 + デジタル 300 語!

紙面掲載の単語は学習指導要領に基づき約 700 語ですが、デジタルコンテンツに「プラス単語」として約 300 語を追加掲載しています。さまざまな児童の「言いたい単語」へのニーズに応えます。



Digital Map ▶詳しくは p.15 参照。



日本や世界のよさを伝える活動は魅力的な一方で、事前に調べる時間がかかってしまうのが難点でした。Digital Map を使えば、日本や世界の名所や名物の語彙や音声を簡単に探し出すことができます。

Key Point

4 線付きで「書く活動」にも対応

掲載されている都道府県や世界の国の情報には、すべて音声がついています。また、4 線の上に単語が表示されているので、書き写す活動にも利用できます。



注目
1

みんなが英語を大好きになります

児童のやる気を引き出すための工夫が盛りだくさん。
さまざまなアプローチから、「英語を大好きになる」をサポートします。



1 魅力的な言語活動

児童が思わずやりたくなるような、目的・場面・状況を伴ったさまざまな言語活動を設定しました。
特に各単元の目標となる Enjoy Communication の Your Goal では、さまざまな工夫をしました。

● 5年生：日本でつながるわたしたち

身近なことから日本の紹介へと視野を広げていきます。

自分のことを 伝え合おう

(Unit 1～3)

まずは自分の名前や誕生日、できることなどについて、友達と伝え合う活動を行います。



Unit 1 の自分の名前や好きなものを伝える自己紹介の活動。

身近な地域のことを 伝え合おう

(Unit 4～6)

トピックを地域に広げていきます。道案内をしたり、名物を紹介したりします。



Unit 5 の各児童が作ったオリジナルタウンで道案内をする活動。

日本のことを 紹介しよう

(Unit 7～8)

さらに視野を広げ、日本について、また、あこがれている人について紹介していきます。



Unit 7 の日本の各都道府県の有名な場所やものなどを紹介する活動。

● 6年生：世界とつながるわたしたち

世界のことや、世界と日本のつながりについて考えたあと、中学校へと接続します。

世界の国や生活を 伝え合おう

(Unit 1～3)

改めて自己紹介を行ったり、日常生活や週末にしたことについて伝え合ったりします。



Unit 3 の週末にしたことを伝え合う活動。タブレット使用の例示もしています。

世界と地球を 見つめよう

(Unit 4～6)

CLIL（内容言語統合型学習）を意識して、日本と世界のつながりなどを考えます。



Unit 5 の日本と世界のつながりについて発表する活動。

思い出と夢を 紹介しよう

(Unit 7～8)

中学校を意識して、小学校生活の思い出や将来の夢などについてやり取りします。



Unit 8 の中学校生活や将来の夢などについて伝え合う活動。

2 児童の興味関心をひくトピック

さまざまな児童が興味関心を自然と抱くようなトピックを精選して掲載しています。特に6年生では、SDGsを視野に入れた活動を多く用意しています。▶詳しくは p.34 参照。



間違いやすい「カタカナ英語」をストーリーの中で自然に取り扱っています(5年生 Unit 4)。



自分たちの身近にあるものはどの国から来たのかを調べて、発表します(6年生 Unit 5)。



(聞き取りの例) トラはどこに暮らしているかな。

意識したのはSDGs!

特に6年生において意識したのは、国連が定めた「持続可能な開発目標」であるSDGs(Sustainable Development Goals)です。6年生のUnit 6では、SDGsについて学ぶストーリーが展開された上で、生き物のためにできることについて発表します。世界共通の課題に取り組むというテーマは、まさに外国語(英語)学習にぴったりです。

確実な定着を図る「うるし塗り」の構成

アプローチを変えながら「うるし塗り」のようにスパイラルに活動を配置することで、確実な言語材料の定着を図ることができます。

●ローマ字指導(5年生 Unit 1の例)



Starting Out 紙面イラスト。ソフィアが不思議に思っている様子が描かれています。



映像で、ソフィアは英語を話す人にはヘボン式がよいとアドバイス。

ことば探検 英語を話す人が下のローマ字の地名を言

1	Shiga	Siga
2	Aichi	Aiti
3	Hukusima	Fukushima

Over the Horizon「ことば探検」で、再度ローマ字について扱います。

3 調べ学習が楽しくなる Digital Map



日本や世界の名所や名物を紹介したいけど、どうやって探せばいいのかわからない…。新コンテンツ Digital Map は、そんな児童の悩みを解決して魅力的な言語活動をサポートします。



Digital Map のトップページ。二次元コードからアクセスできるほか、学習者用デジタル教科書でも使えます。

【会話活用例】

例えば、5年生 Unit 7 の日本の各都道府県の名物などを紹介する活動で使用します。

Where do you want to go?



I want to go to **Matsumoto Castle**.

Map of Japan (日本地図)



日本地図の中から、「各地方」→「各都道府県」の順に選びます。

Map of the World (世界地図)



世界地図から「地域」→「国」の順に選んでいきます。



検索した都道府県の「場所・建物」「特産品・名物」「イベント・行事」を見ることができます。



「場所・建物」などの情報のほか「首都」「言語」「(世界の) こんにちは」も掲載しています。



4 線の上に単語が表示されるので、書き写しがしやすくなっています。音声もついています。

Matsumoto Castle



こちらの画面も、単語が4 線の上に表示され、音声もついています。

pho

注目
2

英語で伝え合う力が身につきます

学習指導要領が定める「コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力」を育成するために、さまざまな工夫を盛り込みました。

た、たしかにこれなら児童は英語を好きになるかも…

でも、「言語活動」は!? 学習指導要領の目標となる資質・能力を育成できますか!?

キラーン

よくぞ聞いてくれました

お見事。

目的・場面・状況をきちんと設定して、学習内容の定着を図れる構成よ

児童が興味や関心をもちやすい題材も魅力です

Your Planが新設されたのよね〜

ごめんな

CHECK!

令和6年度から紙の教科書との併用が決まっていますからね

具体的活用法も含めて見ていきましょう!

他に聞きたいことはありますか?

実は学習者用デジタル教科書の活用法に困っています…

1 見通しを持てるスモールステップの単元構成

見通しを持って単元の学習を行うために、登場人物の質問に答える形で自分が伝えたいことを考えるYour Planを新設し、スモールステップの単元構成を実現しました。

見通しを持つ

Our Goal

単元の目標となる活動 (Your Goal) の映像を見ることで、クラス全体で単元の見通しを持ちます。

Starting Out

Your Turn

Enjoy Communication

Over the Horizon

自分が言いたいことを考える

Watch and Think

ルーカスが自己紹介をしているよ。映像を見て、質問に答えよう。

1 ルーカスの好きな教科はどれかな。番号に○をつけよう。

2 ルーカスに伝えたいあなたの好きなもの・ことを考えよう。

Your Plan

教科は音楽が好き。バスケットボールが好きなのも伝えたい。

Listen and Thinkに出てくるキャラクターであるLucas。

上記のLucasが実写で登場して、画面越しに問いかけます。

言いたいことを友達と伝え合う

Your Goal

単元の目標となる活動です。単元はこの活動を起点としたバックワードデザインで作られています。

世界を探検しよう!

単元で学習した内容を踏まえて、世界について学んでいきます。

単元で学習した内容を含んでいるので、児童の興味関心が高まります。ALTに活躍してもらってもよいでしょう。

導入 Starting Out

さまざまなアプローチから、単元の学習内容に慣れ親しむ

単元のゴール活動を確認したり、ストーリーを伴った音声や映像を視聴したりすることで、単元の学習内容に慣れ親しむパートです。5年生 Unit 1 を例にご紹介していきます。

主な活動

- **Our Goal** 単元の目標となる活動のモデル映像を見て、見通しを持ちます。
- **Listen and Think** 音声聞いて場面を想像したり、映像を見て内容を確認したりします。
- **Let's Chant** 学習する表現を言います。ささやきボイスがあるのでリピートしやすくなっています。
- **Let's Sing** 各単元のテーマに関連する歌です。授業の雰囲気作りなどに使うことができます。
- **Watch and Think** 実写映像による登場人物の問いかけから「自分が伝えたい」ことを考えます。
- ~⑥ p.19 参照。

学習者用デジタル教科書の活用例(1)



Let's Chant で語彙・表現を定着!

単元を通じて特に活用したいのが Let's Chant の映像です。繰り返し行うことで、語彙・表現の定着を図れます。児童がリピートしやすいよう、ささやきボイスが入っています。

評価について

単元冒頭の評価について

単元の1・2時間目は、児童にとっては学習内容に慣れ親しんでいる状況です。そのため、この段階ではまだ記録に残す評価は行わなくてもよいでしょう。

軽快なリズムの歌やチャントを使って、英語の授業を盛り上げていきましょう。



展開 Your Turn

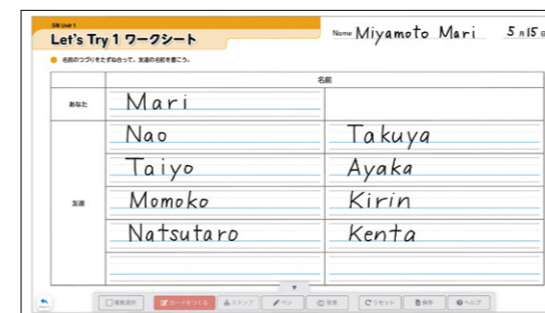
単元のゴール活動を見据えて、学習内容の定着を図る

言語理論に沿った自然な流れで、聞く活動のあとに、学習した語彙や表現を使ったペアやグループでのやり取りの活動を行っていきます。

主な活動

- **Let's Watch** Starting Out の Listen and Think のダイジェスト映像で表現などを確認します。
- **Let's Listen** 慣れ親しんだ表現をもとに、音声聞いて内容を聞き取る活動です。
- **Let's Try** 慣れ親しんだ表現を活用して、友達とやり取りなどを行います。
- **Small Talk** Small Talk を行う際に参考となるトピックを掲載しています。
- **Sounds and Letters** 英語の文字や名前、音について指導するページです。実際に使用する紙面は各単元末にあります。
- **My Picture Dictionary** 別冊の該当するジャンルのページを示しています。
- **ふり返し** Starting Out の見開き右ページ上部と関連したふり返しです。▶詳しくは p.29 参照。

学習者用デジタル教科書の活用例(2)



紙面の書き込みスペースが足りないときは…

Let's Try でたくさんの友達と会話をさせたいけれど、紙面の書き込みスペースが足りない…。そんな悩みは書き込み可能なデジタルワークシートが解決します。

評価について

知識・技能を中心に

言語材料の定着を図っていく段階なので、知識・技能を中心に見取っていくのがよいでしょう。右ページ下部に「ふり返し」コーナーも活用できます。

単元の目標となる活動につなげていきましょう。



1時間目の流れ(例)

- (Let's Sing)
- Small Talk
- 目標の確認
- Listen and Think
- S&L*

2時間目の流れ(例)

- S&L
- 目標の確認
- Let's Chant 1・2
- MPD*
- Listen and Think
- Watch and Think

* S&Lは Sounds and Letters、MPDは My Picture Dictionary の略です。

3時間目の流れ(例)

- S&L
- 目標の確認
- Let's Watch 1
- MPD
- Let's Listen 1
- Let's Chant 1
- Let's Try 1

4時間目の流れ(例)

- S&L
- Small Talk
- 目標の確認
- Let's Watch 2
- MPD
- Let's Listen 2
- Let's Chant 2
- Let's Try 2

目標となる実践

Enjoy Communication

言語材料をふり返りながら内容を広げて、単元のゴール活動を行う

単元の目標となる活動である Your Goal に向け、それまでに学習してきた表現を確認し (Step 1)、それらをもとにスモールステップで会話の内容を広げます (Step 2)。

主な活動

- **Step 1** これまでの学習をふり返って内容を確認したり、デジタルコンテンツを使って、登場人物と会話練習を行ったりします。
- **Step 2** Your Goal の活動を視野に入れた活動です。Step 1 で学習した内容を使って自分の考えや思いをペアで伝え合ったりしながら、話題を広げます。
- **Your Goal** 単元のゴールとなる活動です。大きなイラストを配置しています。
- **Before/After** 活動の前後に気をつけたいことやふり返りを記入します。

学習者用デジタル教科書の活用例 (3)



「会話練習動画」でウォームアップ

Step 1 で登場人物との画面での模擬対話でウォームアップすれば、安心して Your Goal の活動にのぞめます。

評価について

記録に残す評価を行う

Your Goal は単元の目標となる活動なので、「話すこと (やり取り・発表)」の「思考・判断・表現」や「主体的に学習に取り組む態度」を中心に見取るとよいでしょう。Step 1 と Step 2 をきちんと行うことが大切です。

豊富な4線書き込みスペースを設けていますが、児童にすべてのスペースに記入させる必要はありません。



視野を世界に

Over the Horizon

学習内容やテーマをもとに、視野を世界へと広げる

世界の文化を知ることで児童の視点を世界に広げて、英語を学ぶ意欲を高めるパートです。カリキュラム・マネジメントの視点から、指導者独自の活動を行いやすい柔軟な紙面構成としています。

主な活動

- **文化探検** 単元のテーマや言語材料と関連した世界の題材を扱います。単語などを書き込む4線も掲載しており、「書く活動」も行えます。「フカボリ!」では、異なる角度から活動を行います。
- **日本探検・世界探検** 5年生では日本で働く外国出身者のインタビュー映像を視聴します。6年生では世界の友達とのオンライン形式の映像を視聴します。
- **ことば探検・物語探検** 5年生の「ことば探検」では英語と日本語の違いに気づかせる活動を行います。6年生の「物語探検」では絵本の形式で「読む活動」を行います。
- **Word Quiz** 流れる音声と絵が合っているか答える〇×クイズです。6年生は Word Bingo を行います。

学習者用デジタル教科書の活用例 (4)



学習した語彙を復習する Word Quiz

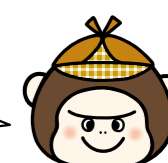
聞こえた音声と絵が合っているかをたずねるシンプルな Word Quiz です。児童自ら語彙の習得状況を確認することができます。

評価について

「主体的に学習に取り組む態度」を中心に

さまざまな世界の情報を扱っているため、「主体的に学習に取り組む態度」を中心に見取ることが可能です。4線書き込みスペースでは、単語を中心とした「書く活動」見取れます。

すべての活動に映像がついています。ぜひ活用ください!



5時間目の流れ (例)

- S&L
- Small Talk
- 目標の確認
- Step 1
- MPD
- Step 2

6時間目の流れ (例)

- (Let's Sing)
- S&L
- 目標の確認
- Step 1
- Let's Chant 1・2
- Your Goal

7時間目の流れ (例)

- (Let's Sing)
- S&L
- Small Talk
- 目標の確認
- 文化探検
- フカボリ!

8時間目の流れ (例)

- (Let's Sing)
- S&L
- 目標の確認
- 日本探検
- ことば探検

文字指導

Sounds and Letters

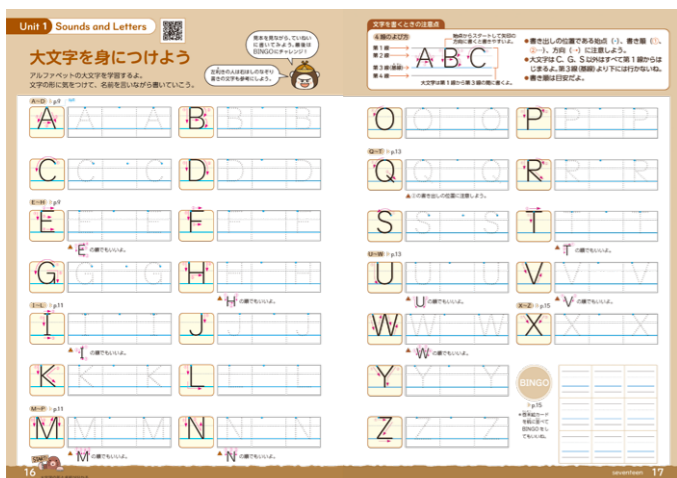


文字指導もスモールステップで

中学校との接続の観点から、文字の形や名前、音などを学習する文字指導は、極めて重要な要素です。この教科書では各単元末に Sounds and Letters の活動をご用意。文字の「名前」から「音」、そして「文」の順に学習するスモールステップの構成で、無理なく文字の名前を定着させたり、文字の音に慣れ親しませたりすることができます。

●文字の形や名前から、文字の音への慣れ親しみへ（5年生）

Unit 1～3 ではアルファベットの大きくて小文字を学習します。Unit 4 以降は、文字の名前について複数の文字の書き取りをしながら定着を図るとともに、アクセントやはじめの音、終わりの音といった文字の音に慣れ親しむ活動を行います。



Unit 1 では、中学年でも学習したアルファベットのの名前を読んだり書いたりして、定着を図っていきます。



Unit 5 では複数の名前の書き取りと、単語のはじめの音に慣れ親しむ活動を交互に行います。

●文字の音に慣れ親しみ、最後は文を読むことにチャレンジ（6年生）

6年生では文字の音に慣れ親しむ活動が中心となります。Unit 6 で、sh などの2つの文字で表す音を学んだあと、Unit 7・8 では慣れ親しんだ語彙や音などをもとに自分の力で文を読む活動をします。



6年生では文字の音に慣れ親しむ活動が中心になります。各見開き最後の「聞いてみよう」の活動では、慣れ親しんだ音からの気づきを促します。



Unit 7・8 では、場面のイラストをヒントに、自分の力で文を読むことにチャレンジします。

テーマ別ふり返り

Check Your Steps

思考ツールを使って、内容を整理して発表する

英語の語彙や表現は、一度の学習だけでは身につけません。ここでは、テーマ別にそれまで学習した内容を思考ツールなどを使って整理して発表することで、内容の定着を図っていきます。



主な活動

- 1 Your Goal** 活動を行う目的を明示。モデル映像も用意しています。
- 2 活動の方法** どのような方法で活動を行うのかの例を示しています。
- 3 HOP** 音声を聞いて内容を聞き取ることで、自分の発表のイメージをふくらませます。
- 4 STEP** 右ページの思考ツールなどをもとに、発表内容を整理します。
- 5 JUMP** 発表活動を行います。ふり返りメモを書いたり、『My Picture Dictionary』の「CAN-DO の樹」でできるようになったことをチェックします。
- 6 思考ツール** 発表活動を整理しやすいように、思考ツールを用意しています。

学習者用デジタル教科書の活用例 (5)

モデル動画で発表のイメージを確認

他のパートと同様に、ここでもモデル動画を用意しています。学んだ語彙や表現を使ってどのように発表すればよいのか。その参考として児童に視聴させてもよいでしょう。

思考ツールで発表内容を整理

この Check Your Steps でも、デジタルワークシートをご用意しています。書き込み式の思考ツールは、児童の発表内容を整理するのに最適です。

評価について

児童の学習の成果をきちんと見取る

これまでの複数単元にわたる児童の学習の成果を「話すこと（発表）」で見取ります。きちんと記録をつけて今後の指導にも役立てていくことができます。

ダイナミックな活動写真で、児童も先生もイメージを共有することができます。

注目
3

児童の学びと教員の指導に寄り添います

児童に楽しく英語を学んでもらえるように、そして先生方には指導しやすいように—。教科書の至るところに、さまざまな配慮を盛り込みました。



1 学びやすい単元構成への変更

指導される先生方のご意見を踏まえ、大きな枠組みを継続しながらも、適切な変更を行いました。

令和2年度版教科書に対するご指摘

- ① 5年生で学習する言語材料が多いのではないか。
- ② 6年生でももっと児童に新しい言語材料を教えたい。

▶6年生の前半まで新規の言語材料を導入し、5年生の学習内容に余裕をもたせました。

指導される先生方のご意見をたくさん取り入れました。



その他の具体例

① 盛り込みすぎた単元をなだらかに

5年生 (令和2年度版教科書)

Unit 4	主な表現 ・He can bake bread well. ・Who is this?
--------	---

*学習する言語材料が多いとのこと意見。

同 (令和6年度版教科書)

Unit 3	主な表現 Can you play dodgeball?
Unit 4	Who is this?

*令和2年度版のUnit 4の学習内容を分割して再配置。

② 単元のテーマはそのままに言語材料を適正化

5年生 (令和2年度版教科書)

Unit 8	主な表現 ・Who is your hero? ・He is always kind to me.
--------	---

*上記の2つの言語材料を同一単元で扱うのが難しいとのこと意見。

同 (令和6年度版教科書)

Unit 2	主な表現 Who is your hero?
--------	---------------------------

*扱う題材を「ヒーロー紹介」のみとし、「一日の生活(頻度の副詞)」は6年生Unit 2に移動。

③ 単元の内容(題材)の変更

6年生 (令和2年度版教科書)

Unit 2	主な表現 My treasure is this soccer ball.
--------	--

*言語材料の面からEnjoy Communicationの活動を行っていくとのこと意見。

同 (令和6年度版教科書)

Unit 2	主な表現 I usually get up at 6 a.m.
--------	------------------------------------

*5年生Unit 8から頻度の副詞などの言語材料を取り入れて、「一日の生活」を紹介する単元に。

④ 単元トピックの変更と入れ替え

6年生 (令和2年度版教科書)

Unit 3	主な表現 Let's go to Italy.
Unit 4	I went to the mountains.

*Unit 4の夏休みを扱う単元は、児童の実態について配慮が必要になるとのこと意見。

同 (令和6年度版教科書)

Unit 3	主な表現 How was your weekend?
Unit 4	Let's go to France.

*令和2年度版Unit 4の内容をUnit 3に移動して、トピックを「週末にしたこと」に。過去形の導入が早くなり、以降の単元での表現の幅も広がります。

2 進化した『My Picture Dictionary』

令和2年度版教科書でご好評いただいた別冊の絵辞書がパワーアップ！ AB判からA4判に大判化しただけでなく、追加コンテンツ満載の Digital Dictionary を活用することもできます。

教科書紙面 (Words)



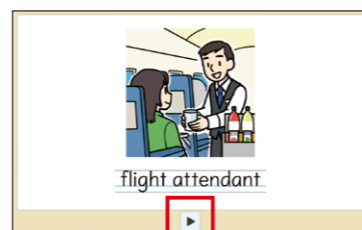
ジャンル別に単語を扱う Words の紙面。イラストを全面刷新したほか、検索性も高めています。

二次元コードからのほか、学習者用デジタル教科書でも使えます。

●オリジナル絵辞書が児童の宝物に!

① 言いたい単語が紙面にある場合 (『My Picture Dictionary』などを活用)

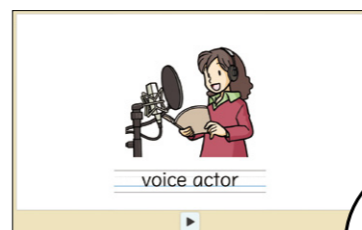
紙面を見ながら書き写すことができるほか、QR コンテンツや学習者用デジタル教科書で音声を確認することもできます。紙面ではレイアウトを工夫して、長い単語でも4線上で2行にならないようにしています。



画面下部のボタンで音声を再生します。紙面でも画面でも、長い単語も一行で表示しています。

② 言いたい単語が紙面にない場合 (Digital Dictionary を活用)

QR コンテンツや学習者用デジタル教科書で「プラス単語」を見てみましょう。先生方へのアンケートをもとに、児童がよく使う単語を選んで掲載しています。例えば児童が「声優」と言いたい場合は、右の画像のように学習者用デジタル教科書などから探し出すことができます。



紙面にない単語にも対応します。

可能性は無限大!

③ ①②で探してもない場合は空欄のカードに記入

デジタル教科書の「プラス単語」でも言いたい単語がない場合は、先生やALTに聞くこととなりますが、最大の特長は教科書のカード欄に記入できること。これらの作業を通じて、自分だけのオリジナルの絵辞書を作ることができ、児童の一生の宝物になるでしょう。右の画像のように、Digital Dictionary 中のカード画像に書き込み、タブレットなどに保存することもできます。



改めて……別冊だからできること!



ページの行き来をする必要がなく、書き写す際にもモデル字が読みやすくなっています。



薄くて軽く、自宅への持ち帰りにも適しています。紙面が開きやすく、ポインティングゲームなどの活動も行いやすくなっています。

Words 以外のページ



「英語を使って会話を広げよう!」のページ。

Small Talk を中心とした、会話を続ける際に役立つ表現を集めています。



「Map of the World」のページ。

世界の国の名前や国旗、有名な場所・ものなどをコンパクトにまとめています。Digital Map へのリンクもあります。



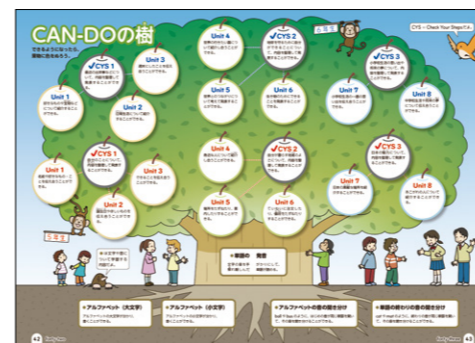
「Map of Japan」のページ。

日本の各都道府県の名前や有名な場所・ものなどをまとめています。Digital Map へのリンクもあります。



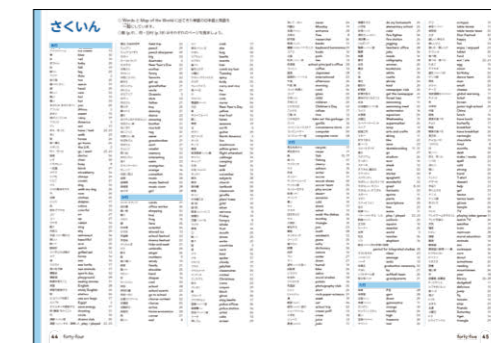
学習した主な表現をふり返るページ。

各単元の主な表現をまとめています。中学年で使用した表現も掲載しています。



「CAN-DO の樹」のページ。

CAN-DO リストを樹の形でまとめています。▶詳しくは p.28 参照。



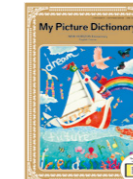
「ざくいん」のページ。

小学校段階では英語の単語をまだ十分に読めないで、日本語から探せるようにしています。

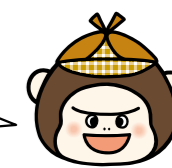
Key Point

“My” (私の) に込めた思い

目的・場面・状況をもとに「本当に言いたいことを伝える」言語活動を行うことが大切です。ただ、当然ながら「言いたいこと」は児童によって異なります。この別冊は、作りあげた「自分だけの絵辞書」を「自分だけの宝物」として、中学校以降の英語学習でも役立ててほしい、という思いを込めて制作しました。



表紙にはなんと7つの単語が隠れています! 児童が英語を楽しんでもらう仕掛けです。



3 わかりやすく、適切な評価のための工夫

適切な評価を行うためのさまざまな工夫を盛り込みました。各単元では冒頭に学習評価の規準に沿った目標を明示するとともに、Your Turn 以降のパートにおける「ふり返り」などを通じて、児童の自己調整する力を含めた着実な成長を見取ります。CAN-DO リスト、年間指導計画作成資料、評価支援システムなどを通じて、先生方の評価における負担軽減も図ります。

単元内に「学習評価の規準」と「ふり返り」を明示

単元冒頭の見開き右ページ上部に、学習評価の規準の3観点である①知識・技能(●)、②思考・判断・表現(◆)、③主体的に学習に取り組む態度(★)に対応した目標を掲載し、Your Turn 以降のふり返りと呼応させています。

● あなたの名前や好きなもの・ことを友達に伝えよう。

◆ おたがいのことをよく知るために、名前や好きなもの・ことを伝え合おう。

★ 世界の人と理解し合うために、名前などについて考えよう。

Your Turnのふり返り!
● 名前や好きなもの・ことを友達と伝え合えたかな。

Your Turnの知識・技能のふり返り。

Enjoy Communicationのふり返り!
◆ 相手のことをよく知るために、名前や好きなもの・ことを伝え合えたかな。

★ 相手に伝わるように自己紹介しようとしたかな。

Enjoy Communicationの思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度のふり返り。

Over the Horizonのふり返り!
★ 世界の人と理解し合うために、名前などについて考えたかな。

Over the Horizonの主体的に学習に取り組む態度のふり返り。

5年生 Unit 1 の学習評価の規準に沿った目標 (5年生 p.9)

1 通常の授業で見取る

～ Starting Out, Your Turn, Enjoy Communication ～

授業中の児童の様子とともに、教科書やワークシートでの記述内容から評価します。児童が書き写すことができるような4線も数多く用意しており、単語や文などを書く活動を見取ることができます。



書き込みスペースが豊富にある紙面。

2 各単元で見取る

～ Enjoy Communication ～

単元の目標となる活動があるパートで、目的・場面・状況に応じた言語活動を行います。巻末にあるコミュニケーションカード(デジタルコンテンツでもご用意)は、児童の学びの足跡になります。



単元の目標の活動となるYour Goalには大きなイラストを配置。

3 テーマ別活動で見取る

～ Check Your Steps ～

テーマ別(2～3単元ごと)にあります。学習した内容を復習するとともに、整理して発表する活動を行います。各単元の枠を超えた自分だけの表現活動を行うことで、学習内容の定着を図ることができます。

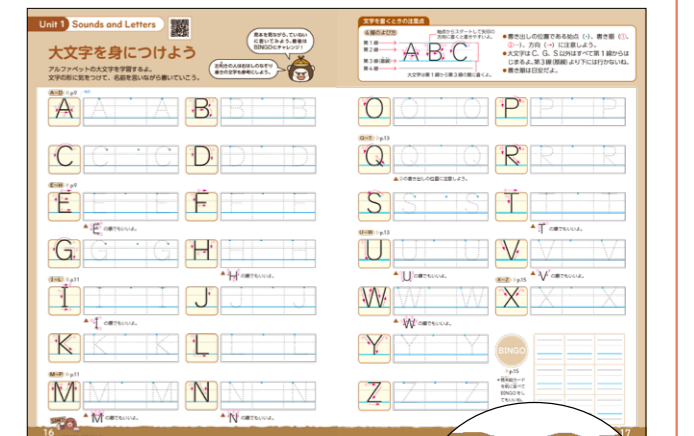


思考ツールもあり、表現の幅が広がります。

4 「文字指導」で見取る

～ Sounds and Letters ～

文字指導を行う Sounds and Letters の紙面を各単元の最後に設けました。文字の形・名前の定着や、音への慣れ親しみは、中学校への接続の意味でも重要です。豊富な書き込みスペースから児童の定着状況がわかります。



文字指導もスモールステップの構成です。

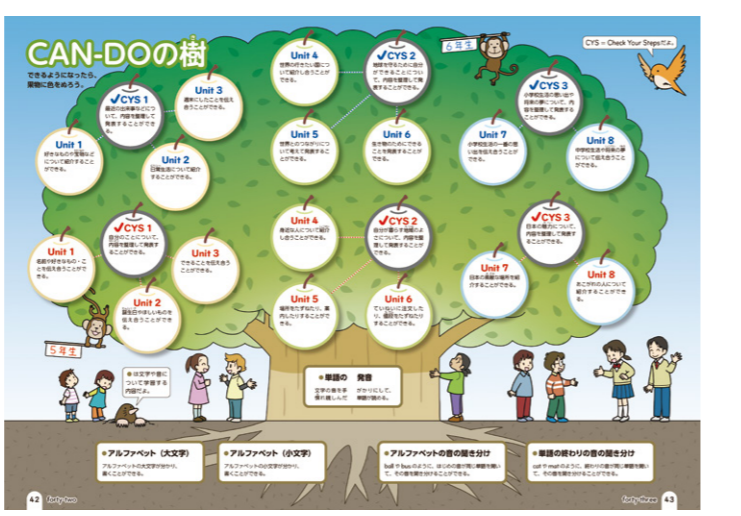
モグラが、学習の進捗を表します。

児童と共有できる CAN-DO リスト

「指導と評価の一体化」の側面からも、CAN-DO リストで児童と教員が目標を共有することが大切です。この教科書では、『My Picture Dictionary』の中に「CAN-DOの樹」をご用意。楽しいイラストとともに2年間の各単元の目標が明示されています。Enjoy Communicationの活動ともリンクしており、指導のしやすさも抜群です。

Enjoy Communication
や Check Your Steps
ともリンクマークで連動しています。

『My Picture Dictionary』の「CAN-DOの樹」。イラストは中学年から中学校へと続く学習の流れをイメージしています。



充実のサポート体制

評価における先生方の負担軽減のための指導書サポートも充実しています。

年間指導計画作成資料

学年	学期	単元名	単元名	学習指導要領の内容	教科書のページ
4	1学期	Unit 1	Unit 1	(1)自己紹介からどんな人が登場するか。	(1)アメイブ 8-9
		Unit 2	Unit 2	(2)【1】名前や好きなもの・ことを友達と伝えよう。	(2)アメイブ 10-11
		Unit 3	Unit 3	(2)【2】名前や好きなもの・ことを友達と伝えよう。	(3)アメイブ 12-13
		Unit 4	Unit 4	(2)【3】名前や好きなもの・ことを友達と伝えよう。	(4)アメイブ 14-15
	2学期	Unit 5	Unit 5	(2)【4】誕生日や誕生日の楽しみを友達と伝えよう。	(1)アメイブ 16-17
		Unit 6	Unit 6	(2)【5】誕生日や誕生日の楽しみを友達と伝えよう。	(2)アメイブ 18-19
		Unit 7	Unit 7	(2)【6】誕生日や誕生日の楽しみを友達と伝えよう。	(3)アメイブ 20-21
		Unit 8	Unit 8	(2)【7】誕生日や誕生日の楽しみを友達と伝えよう。	(4)アメイブ 22-23
5	1学期	Unit 1	Unit 1	(2)【8】世界の祭りについて考えよう。	24-25
		Unit 2	Unit 2	(2)【9】おたがいのことをよく知るために、名前や好きなもの・ことを伝え合おう。	26-29
	2学期	Unit 3	Unit 3	(2)【10】おたがいのことをよく知るために、名前や好きなもの・ことを伝え合おう。	30-31
		Unit 4	Unit 4	(2)【11】おたがいのことをよく知るために、名前や好きなもの・ことを伝え合おう。	32-33
6	1学期	Unit 1	Unit 1	(2)【12】世界で使われている言語について考えよう。	34-35
		Unit 2	Unit 2	(2)【13】世界で使われている言語について考えよう。	36-37

教科書特集ページにアップします。(画像はイメージ)

評価支援システム

教科書の内容に沿って評価を行い、その結果を適宜入力すれば、数値化してABCを算定します(画像はイメージ)。

1 | その他/ デジタル化への対応

2024（令和6年）度から紙の教科書と併用される「学習者用デジタル教科書」は、授業中での活用を意識して制作しました。先生方が使用する「指導者用デジタルブック」でも機能改善を図りました。

●個別最適な学びにぴったりの学習者用デジタル教科書

児童が授業中などに使用する学習者用デジタル教科書は、最大のメリットである個別最適な学びを意識して制作しました。インターフェースである Lentrance の機能向上を図るとともに、映像の人物と模擬対話ができる会話練習映像のほか、調べ学習に最適な Digital Map もご用意。コンテンツ自体の質と量を充実させ、それぞれの児童に合った学びを実現します。



●指導者用デジタルブックの内容・機能を大幅向上！

先生方が授業で使用する指導者用デジタルブックの内容改善のため、たくさんの先生方にヒアリングを行いました。基本的な操作方法は維持しながらも、ボタンの配置やツールバーの構成などを最適化し、操作性が大幅に向上します。オリジナルコンテンツもたくさん盛り込みます。



世界遺産を360度俯瞰してのぞけるようなコンテンツは、指導者用デジタルブックだけのオリジナルです。画像のマチュピチュのほか、コロッセオやオーロラなどの映像をご用意します。



ツールバーやボタンの再配置・最適化を図ることで、スムーズな指導を行うことができます。たとえば、ほとんどのコンテンツに2クリックでたどり着けるようになります。



タイマーなどのかゆいところにも手が届く機能も充実。

2 | その他/ 中学年や中学校へとスムーズな橋渡し

さまざまな工夫を盛り込み、中学年や中学校とのスムーズな接続を実現しました。

●中学年の『Let's Try!』の内容をきちんと受け止める

5年生の冒頭では、文部科学省発行の小学校外国語活動教材『Let's Try!』の学習内容をまとめたページがあります。中学年の外国語活動で学んだ内容は、5・6年生でも繰り返し扱うので、確実な定着につながります。



5年生 pp.6-7の中学年との接続ページ。

教科書の登場人物の対話音声を通じて、中学年の外国語活動の内容をふり返ります。ページ下部には、感染症予防についての説明のほか、Small Talkのサンプル動画なども掲載しています。

繰り返しの具体例

ほしいもの

『Let's Try! 2』(Unit 7)
What do you want?
『NEW HORIZON Elementary 5』(Unit 2)
What do you want for your birthday?

一日の生活

『Let's Try! 2』(Unit 4)
What time is it?
『NEW HORIZON Elementary 6』(Unit 2)
What time do you usually go to bed?

●中学校の学習へと効果的につなぐ

読み書き活動を中心として、中学校への円滑な接続を意識した構成としました。



Sounds and Lettersでは、最終的に紙面のイラストや学習した内容をもとに文を読むことにチャレンジ。スモールステップの活動で、中学校での学習へとつなげます。

Key Point

語彙面での接続も意識

中学校の教科書の内容を考慮すると、小学校段階での語彙面のサポートも欠かすことはできません。そこで役立つのが別冊の『My Picture Dictionary』。また、Over the Horizonの5年生ではWord Quiz、6年生ではWord Bingoの活動で、語彙面をフォローしています。



中学校で学習する内容を想像させる、巻末 Going to Junior High Schoolの紙面。

3 特別支援教育への適切な配慮

専門家の助言のもと、特別な支援が必要な児童への配慮を意識して編集しました。

●活動・学習要素を定位置に配置

単元の流れに沿って各活動を定位置に配置することで、指導の流れが明確になり、児童は安心感を持って学習に取り組むことができます。

●英語・日本語ともにユニバーサルデザイン書体を使用

紙面全般でユニバーサルデザイン書体を採用。特に英文書体はできるだけ一筆書きになるようにしました。大文字よりもはるかに多く使われる小文字に配慮し、4線の第2線と第3線の間の幅をやや広げて書きやすくしました。

I like dogs.

4線付き書体。

I like dogs.

4線付きのなぞり書き用書体。

指導書をご購入いただくと、ワークシートの作成などに便利な左の2つの書体のほか、通常の書体もご利用いただけます。

●左利きの児童への配慮も万全

アルファベットを書く初期段階では、モデル字を左利きの児童にも見えるように配置しました。



左利きの児童は、右のモデル字を見ながら書く練習ができます。

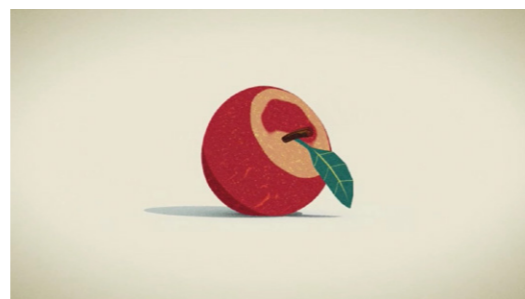
東京書籍の学力テストを作成・分析する部署と連携して、Unit 3では間違いやすい文字をピックアップするなど、エビデンスに基づく工夫をしています。



●文字指導の特別映像を掲載

読み書き指導でのつまずきを防ぐためのアプローチを工夫しました。Letter Imagesはその一つ。文字の形や音について、児童が楽しみながら慣れ親しむことができる映像です。

文字の形が覚えにくい児童も、葉っぱのついたリンゴから、小文字のaの形を思い出すことができます。



●学習者用デジタル教科書に搭載するさまざまな機能

読みやすいリフロー表示や縦ルビ・分かち書き表示のほか、画面の背景色や文字色を変更したりすることができます。

さまざまな機能を搭載しています。

特別支援向けの主な機能

- 1 明るさの調整
- 2 コントラストの調整
- 3 グレースケール機能
- 4 色反転機能
- 5 操作音の調整



グレースケール機能のイメージ。色数が1色になって目に入ってくる情報量が減るので、集中できます。

4 「働き方改革」につながる資料や素材

忙しい先生方の授業準備の負担軽減のためにさまざまな資料や素材をご提供します。

●豊富な紙やデジタルのワークシート

授業前の紙のワークシートのプリントアウトなどは、忙しい先生方にとって大きな負担です。今回の教科書では、紙面自体に豊富な記入スペースを用意しました。デジタルコンテンツにも端末を使ったデジタルワークシートがありますが、指導書には紙のワークシート集も用意します。



●複式指導に対応する単元構成と複数の指導案

「うるし塗り」のように同じ言語材料を単元をまたいで繰り返し学習する仕組みで、複式指導が行いやすくなっています。指導書の中には、複式指導案を複数ご用意する予定で、学校の実態に合った指導が可能です。



5 ダイバーシティへの配慮

さまざまな国や人種を取り上げているほか、登場人物の性別や服装、身体的な特徴などに偏りがなく注意を払いました。

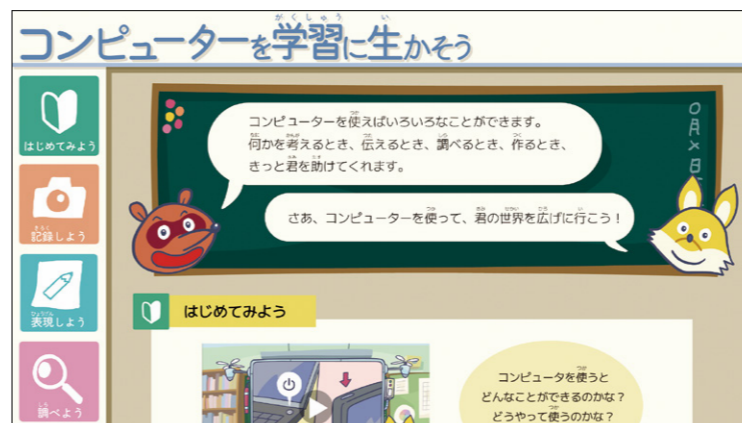


車いすの児童が活動に参加している様子。

性別や服装などに偏りがなくさまざまな配慮をしました。

6 端末の使い方・感染症対策

先生方が苦勞されている「現場の課題」に真摯に向き合いました。



感染症対策についての映像も全教科共通でご用意しました。

冒頭の二次元コードから、端末の使い方や注意点について解説している映像などにアクセスできます。

その他/ **7** 豊かな心を育む多様なトピック・教材

SDGs など今日的な課題を中心に児童の興味関心をひく多様なトピック・教材をご用意しました。ここでは、デジタルコンテンツの映像を中心に紹介します。

● SDGs を意識して、地球市民としての心を育む



SDGs とは、2015 年国連サミットで採択された「持続可能な 17 の開発目標」です。2016 年から 2030 年までに、今の世代の人も将来の人も幸せに暮らしていける「持続可能な世界」の実現を目指します。



6年生 Unit 6 絶滅危惧種に指定されているボルネオゾウを取り上げ、日本の NGO と旭山動物園がサポートする保護活動を取り上げています。



6年生 Unit 1 ウガンダの児童が水を汲みに行く写真から、「水が宝物である」というメッセージを伝えます。



6年生 Unit 1 日本の国際貢献活動として、JICA がウガンダに建設した病院を取り上げています。

● 郷土教育・伝統文化を見つめ直す



5年生 Unit 8 「日本探検」では、外国出身者が日本文化などの魅力を伝えます。例は漆アーティストのスザン・ロスさん。



5年生 Unit 8 アフガニスタンで灌漑事業などを行った医師の中村哲さんから世界に誇る日本の偉人を取り上げます。



6年生 Unit 7 イギリスの小学校に勤務する日本人の先生が、Japan Day について説明します。

● 異文化理解・多文化共生意識を育む



5年生 Unit 3 イタリア人の「おいしい」を表すジェスチャーを予想する活動です。その他にタイやフランスの例も。

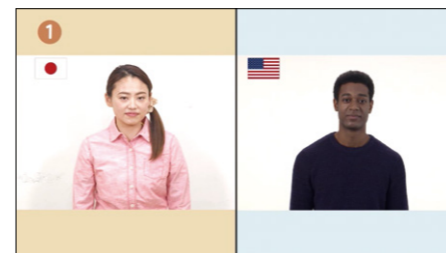


5年生 Unit 5 シルクロードをテーマに、日本と世界とのつながりを考えます。続く資料ページとも連動しています。

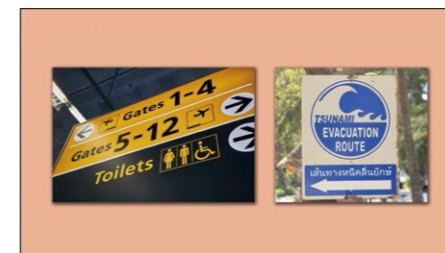


Special Extra 海外の友達が自国の文化などを紹介する NHK for School 提供の映像。5・6年生でそれぞれ5ヶ国を紹介。

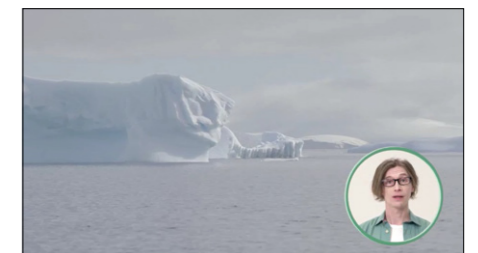
● 今日的課題を海外の文化の側面から考える



5年生 Unit 3 日本とアメリカの手話の違いについて学びます。文化の違いとともに共生の意識を育む活動です。



5年生 Unit 5 空港の標識や、タイの海岸にある津波の標識から、内容を予想する活動です。



6年生 Unit 6 生き物についてできることを考える単元では、地球温暖化などの影響による環境の変化について考えます。

CLIL (内容言語統合型学習) が充実



他教科連携を視野に「英語で学ぶ」

「英語を学ぶ」のではなく「英語で学ぶ」学習法である CLIL は、さまざまな教科を教える学級担任の先生にぴったり。そのような小学校ならではの他教科連携を意識したコンテンツも充実しています。例えば6年生 Unit 8 の文化探検は、バルセロナのオフィスで働くゲーム会社の社員の仕事を通じて、世界で働くことの意義を学ぶ内容です。キャリア教育と関連して、さまざまな国の人々が登場します。

6年生の最後の文化探検です。



その他/ 8 学習者用教材のラインナップ

教科書に関連するさまざまな教材群が児童の豊かな学びをサポートします。

●学習者用デジタル教科書

個別最適な学びに適した学習者用デジタル教科書をご用意します。▶詳しくは p.30 参照。

●タブドリ LIVE!

「聞く」「読む」「書く」を中心に楽しく学習できる!

この教科書に完全準拠のドリル型デジタル教材です。中学校への円滑な接続を視野に、特に「聞く」「読む」「書く」について、効果的に学習することができます。アバターの使用など、児童の英語を学ぶ意欲を刺激するしかけも満載。学習者用デジタル教科書と連動して活用することも大きな特長です。



授業のすき間時間や家庭学習でも利用できます。

●教材データベース (仮)

さまざまなデジタル教材をご利用いただけるサービスです。家庭学習や自学自習でも使えるコンテンツが充実しています。学習者用デジタル教科書と連動して活用することもできます。

●小学校英語絵本シリーズ

日本の小学生にぴったりの英語絵本です!

学習指導要領の内容を意識した、日本の小学生の学習内容に沿った絵本シリーズ。実際の授業での活用のほか、学校図書館に置けば児童の自主的な学習を促します。6年生の活動である「物語探検」のサイドストーリーとなる絵本も発行予定です。



日本の小学生の興味をひく題材を扱っています。

\\ 「未来の英語の学び」 に向けた研究を進めています! //

GIGA スクール構想下での実証研究の推進
~ Google for Education™ ~

東京書籍株式会社は Google for Education の Build パートナーに認定されており、GIGA スクール構想下の学びについて、他教科とともに協働して実証実験を重ねています。その成果は指導書のコンテンツにも反映させていく予定です。



その他/ 9 指導者用教材のラインナップ

先生方の指導をサポートするために、さまざまなコンテンツをご用意しています。

●教師用指導書

学びや指導を支援するためのラインナップを充実させます。下記の上部リストの3以降は、弊社ホームページからダウンロードが可能です。「指導者用デジタルブック」は1~10に同梱する形でご購入いただけます。

1 指導編 (朱書編)	教科書紙面・解答例・音声スクリプトのほか、単元末テストなどをダウンロードできる二次元コードも掲載。分売可。
2 研究編	教科書の考え方や扱い方、内容解説、指導案、日本語訳、評価の観点などの詳しい情報を掲載しています。
3 デジタル版指導編 (英語版を付属)	指導編 (1) のデジタル版です。学習者用デジタル教科書と同じプラットフォームを使用します。A L T用に英語版のテキストを見ることもできます。
4 ふり返り・ワークシート編	毎時のふり返りシートのほか、言語活動を補助したり、文字指導をサポートするワークシートなどを掲載した冊子。
5 単元末テスト	各単元末に行うテスト。音声付きで、評価の観点もついています。
6 授業支援ツール対応素材集	Google Workspace for Education や Microsoft Teams などのデジタル素材集をご用意します。
7 4線付フォント	入力すると4線が自動で表示されるフォント。実線文字となぞり書き用文字の2種類があります。その他、通常のフォントも1種類をご用意します。
8 評価支援システム	指導書掲載の評価規準やポイントをもとに、児童の活動を見取って記入していただくだけで、評価が計算される Excel のシート。
9 複式指導案	A・B年度方式のほか、5・6年生の2学年分の内容を1年に圧縮して繰り返す「圧縮版」なども用意します。
10 総ルビ・分かち書き PDF ファイル	特別な支援が必要な児童や外国籍の児童向けの教科書紙面 PDF ファイルです。

その他にも、QRコンテンツと同一内容の映像・音声などさまざまなコンテンツをご用意します。

+

指導者用デジタルブック	教科書紙面を含む授業中の演示用のデジタル教材です。
-------------	---------------------------

アレン先生、教えてください!



このページでは、先生方からよくお聞きするご質問に、『NEW HORIZON Elementary』の編集代表であるアレン玉井光江先生にお答えいただきました。



1時間の活動を効率的・効果的に行うにはどうしたらよいでしょうか。

教科書掲載のすべての活動を行う必要はありません。豊かな「選択肢」の中から取捨選択してご指導ください。付録の活動であることを示す「Plus!」マークも目安になります。4線の書き込みスペースも、無理にすべてを書かせる必要はありません。



そもそも教えられるほど英語が得意ではないのですが…

英語を教えるのではなく、児童と一緒に学んでいくような気持ちを持ってみてはいかがでしょうか。ポジティブな姿勢が児童にも伝わり、モチベーションも上がっていくはずですよ!



英語の指導についてのサポート体制について教えてください。

東京書籍のウェブサイトから、指導に役立つ情報(Google Workspace for Educationのデジタル素材集など)をダウンロードすることができます(指導書ご購入校のみ)。さらに誰でも見られるウェブサイト「英語の広場」の運営やLINEを通じた情報発信も行っています。ぜひチェックしてみてください!



「いつでもQ & A」もご覧ください!

教科書特集ページ内にある「いつでもQ & A」でも、お問い合わせを受け付けています。回答も随時アップしていくので、チェックしてみてください!



令和の日本型学校教育の構築のために

個別最適な学びと協働的な学び ～小学校外国語科(英語)の視点から～

中央教育審議会から令和3年1月26日付で、『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現』の答申が出されました。その中で、2020年代を通じて実現すべき姿の2つの柱として、①ICT環境の活用などを通じた「個別最適な学び」*1、②探究的な学習や体験活動などを通じた「協働的な学び」*2が示されています。この教科書でも、上記の2つの視点を大切にしながら編集作業を行いました。

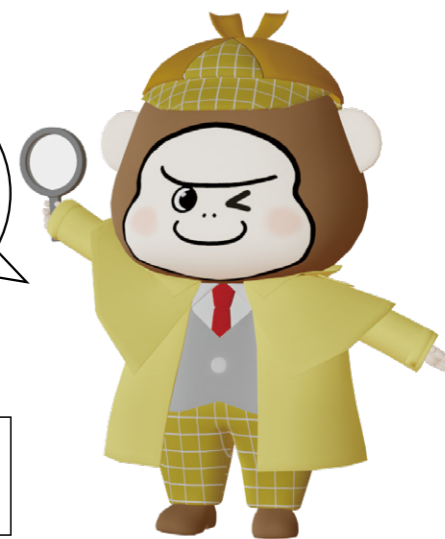
答申で示されているように、これからの子どもたちは、社会の在り方が劇的に変わる「Society 5.0時代」、新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」を生き抜いていかななくてはなりません。と同時にグローバル化が進化した世界において、お互いを尊重して理解しようとする「国際理解」の視点もまた、欠かすことのできない要素の一つと言えるでしょう。

この教科書が、児童が豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる一助となるよう、編集委員の先生方を中心に心を込めて制作しました。指導する先生方、そしてこの教科書を使用する児童のみならずその思いが届くのであれば、関係者一同、これに勝る喜びはありません。

東京書籍 英語編集部

*1: 各種デジタルコンテンツ(特にStarting OutのLet's Chant、Enjoy Communicationの会話練習映像など)
*2: 各ユニットEnjoy CommunicationのYour Goalなど。

エイゴリック・ホームズです。最後までお読みいただき、ありがとうございました! 東京書籍小学校英語編集部のキャラクターである「えいごりら」とともに、これからも英語に関するさまざまな情報を提供させていただきます。またお会いできる日を楽しみにしています!



エイゴリック・ホームズの活躍はこちらから!



パンフレット+aの情報を
特設サイトで!



令和6年度

小学校教科書のご案内

Q & Aは随時更新!

「お問い合わせフォーム」をご用意しています。よくお問い合わせいただく質問と回答を「いつでもQ & A」コーナーに掲載し、随時更新します。その他、動画などのwebのみのコンテンツを多数掲載。ぜひご覧ください!



アクセスはこちら

東京書籍 小学校 英語

検索

● 著作権関係者

代表

アレン玉井光江 青山学院大学
阿野 幸一 文教大学
濱中 紀子 元直島町立直島小学校教諭

阿部フォード恵子 CALA Global
阿部 始子 東京学芸大学
荒井 和枝 筑波大学附属小学校
荒井 浩子 渋谷区立渋谷本町学園小学校
飯嶋 一人 高崎市立矢中小学校
飯塚 晃三 元姫路市立琴陵中学校校長
池田 真 上智大学
石川奈緒美 元 Japanese International School in Hanoi 小学部長
石鍋 浩 明海大学
伊藤さつき 秋田市立川尻小学校
伊東 弥香 東海大学
大里 弘美 比治山大学
太田かおり 西南学院大学
岡本真砂夫 姫路市立八幡小学校
落合 弘美 元文京区立誠之小学校主幹教諭
笠島 準一 上智大学名誉教授
笠原 一 横浜市立港南中学校
櫻本 洋子 四天王寺大学
嘉多山葉子 札幌市立澄川小学校
兼子 輝 横浜市立荏田東第一小学校
川村 一代 皇學館大学
北野 ゆき 守口市立錦小学校
栗田 智子 青山学院大学
黒木 愛 杉並区立堀之内小学校
木暮 政美 元伊勢崎市立あずま小学校校長
小西かつら 静岡市立西奈南小学校
小林 翔 大阪教育大学
近藤 ゆき 宮城県仙台教育事務所
坂井 邦晃 アトリエさかい
坂本ひとみ 東洋学園大学
佐藤 剛 弘前大学
佐藤 博臣 川崎市立百合丘小学校
佐藤 博晴 山形大学
清水 遥 東北学院大学
鈴木はる代 つくば市立沼崎小学校
鈴木 涉 宮城教育大学
平良 優 宮古島市立伊良部島小学校
高松 憲子 元高松市立林小学校校長
竹内 茜 川崎市立南加瀬小学校
建内 高昭 愛知教育大学
巽 徹 岐阜大学
田中 佑美 滋賀大学

佃 由紀子 高知市立泉野小学校
樋田 光代 岐阜市立岐阜特別支援学校
徳田 秀隆 鹿児島市立星峯西小学校
中垣 州代 畿央大学
長門 直子 元福岡市立石丸小学校校長
長嶺 寿宣 龍谷大学
中村 隆秀 東近江市立蒲生西小学校英語専科指導教員
中村 典生 長崎大学
中山 夏恵 文教大学
西原 美幸 広島大学附属小学校
猫田 和明 山口大学
濱田 陽 秋田大学
林 裕子 佐賀大学
日吉 英智 武蔵村山市立第九小学校
深野 瑞恵 横浜市立市場小学校
間宮 多恵 港区立白金小学校
水上 直子 越前市武生第五中学校
三田村有香 京都市立朱雀第一小学校
三田 祐太 青梅市立第五小学校
村田 暁 川崎市立荏宿小学校
村野井 仁 東北学院大学
村松 麻里 金沢学院大学
矢野 淳 静岡大学
山下桂世子 Ashbrook School
山野 有紀 宇都宮大学
行岡 七重 松江市小学校外国語教育指導協力員
渡部 孝子 群馬大学
渡邊 浩章 成田市立八生小学校
渡部 裕子 郡山市立桃見台小学校
Brian M. Peck 昭和女子大学
Mark Fennely 四国大学

ICTの活用に関する校閲

朝倉 一民 札幌市立発寒南小学校
稲垣 忠 東北学院大学
大山 喜裕 つくば市立学園の森義務教育学校
柴田 隆史 東海大学
寺澤 孝文 岡山大学
毛利 靖 一般財団法人日本視聴覚教育協会
森本 康彦 東京学芸大学

特別支援教育に関する校閲

村上加代子 武庫川女子大学

東京書籍株式会社

(ほか1名)

色覚デザインに関する編集協力

色覚問題研究グループぱすてる



本社 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 Tel:03-5390-7304 (英語編集部) Fax:03-5390-7300
支社・出張所 札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467 金沢 076-222-7581 名古屋 052-950-2260
大阪 06-6397-1350 広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770 那覇 098-834-8084
ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp> 東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/>

Lentrance は、日本国、米国、及びその他の国における株式会社 Lentrance の登録商標または商標です。
Google for Education は Google LLC の商標です。

Microsoft、Microsoft Teams は、マイクロソフトグループ企業の商標です。

pp.2～3 写真: © Tom Wang/Shutterstock.com, Ground Picture/Shutterstock.com, milatas/Shutterstock.com, Monkey Business Images/Shutterstock.com